

令和4年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	在宅看護概論	分野/教育内容	統合分野/在宅看護論
開講年次・時期	2年前期 令和4年4月8日	単位数/時間	1単位/15時間
担当講師名	畠山 千章	所属・役職	宮古高等看護学院 主任看護教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	在宅ケアニーズが拡大している背景と、在宅看護の必要性・目的について学ぶ		
到達目標	1. 在宅看護が必要とされる社会背景を説明できる 2. 在宅看護の目的・対象・活動の場、連携・協働の重要性を説明できる 3. 在宅で生活する人々とその家族の特徴について説明できる 4. 在宅での生活維持に関わる医療・福祉の制度や社会資源について説明できる 5. 訪問看護師をはじめとする看護職の役割や求められる能力を説明できる		
事前学習内容	・自分が生まれ育った地域の「特性、問題点、健康課題」について考えをまとめておく ・2回目以降の事前学習課題は都度指示する		
成績評価の方法	1. 終講試験（100点満点） 1回 2. 課題の提出状況 提出期限が守られない場合や内容に不足がある場合は終講試験結果から減点 3. 出席状況		
使用テキスト	地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア（第7版 第1刷、メディカ出版）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	地域で求められる看護とは		講義
第2回	地域・在宅看護の背景		講義
第3回	地域・在宅看護の対象		講義
第4回	地域療養を支える制度①		講義
第5回	地域療養を支える制度②		講義
第6回	在宅療養を支える訪問看護		講義
第7回	地域における暮らしを支える看護		講義
	終講試験		
履修上の留意点	・統計や法律・制度については、新しい情報を得るよう注意すること。 ・本授業および今後予定する援助論の授業資料、自己学習内容は、3年次の実習に活用できるようファイリングしておくこと。 ・積極的に自分の考えを表現すること。		